99999

講演番号（Arial，18pt）

8月上旬公開予定のプログラムでご確認下さい．

受付番号ではありません．

講演論文作成について

Making conference paper

学　○機械太郎（京大）　技術さくら（阪大）　正　工学次郎（京大）

Taro KIKAI and Jiro KOGAKU, Kyoto University
53 Kawahara-cho, Shogoin, Sakyo-ku, Kyoto 606-8507, Japan

Sakura GIJUTSU, Osaka University

Key words: Term 1, Term 2, Term 3, Term 4,… (Show 3 to 5 key words)

１．緒　言

　本会議の講演論文原稿は1ページとし，50文字×46行×1段組で2300字とする．文章の区切りには全角の読点「，」（カンマ）と句点「．」（ピリオド）を用いる．カッコも全角入力する．本文中の文字の書式は，明朝体・Serif系（Century，Times New Romanなど）を利用し，見出しについては，ゴシック体を使用する．

２．このテンプレートファイルの使い方

　このテンプレートの表題，著者名，本文などはあらかじめ本会指定のフォントサイズなどの書式が設定されている．この書式を崩さずに入力すれば，文字数，行数など定められた体裁で論文を作成することができる．しかし，絶対的な出来上がりのレベルを保証するものではないので，体裁が望むレベルに達しない場合には，使用の環境に合わせ，投稿者各自において微調整を行うなど，本会の論文集掲載の体裁に最も近い設定を行う必要がある．



Fig. 1 Sample figure.

３．原稿執筆の手引き

　原稿の冒頭に，和文の表題・著者名・所属，および英文の表題・著者名・所属を記す．発表者の和文氏名の前に○印を付ける．正員，学生員の場合は，和文氏名の前にそれぞれ正もしくは学と記す．キーワードは，3～5語句とし，前置詞・冠詞は含めない．本文は適当に区分して見出しを付ける．図は1つとし，図中の説明および題目はすべて英語で書く．表や数式は本文中に含めない．

４．引用文献の書き方

　本文中の引用箇所には，右肩に小括弧をつけて，通し番号を付ける．例えば，新宿・渋谷(1)(2)のようにする．引用文献は，本文末尾に番号順にまとめて書く．また，日本語の文献を引用する場合は日本語表記とし，英語の文献を引用する場合は英語表記とする．

５．提出に関して

　原稿はPDF化してファイル名を「講演番号.pdf（例：1A07.pdfなど）」とし，ファイル名を「JST講演番号.pdf（例：JST1A07.pdfなど）」としたJSTデータベース用講演論文抄録と併せて投稿サイトから提出する．講演番号は8月上旬には講演会ウェブサイト上に掲載する予定である．複数のPCで文字化けがないか，提出前に各自確認する．PDF化した提出原稿のファイルサイズは1 MB以下とする．

参考文献

1. 新宿太郎，渋谷二郎，“論文の書き方”，日本機械学会論文集A編，Vol. 52, No. 485 (1987), pp. 111-116.
2. Keer, L.M., Knapp, W., and Hocken, R., “Resonance Effects for a Crack Near a Free Surface”, Transactions of the ASME, Journal of Applied Mechanics, Vol. 51, No. 1 (1986), pp. 65-69.